

自然をどうとび、自然を愛し、自然に親しもう。  
自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしましょう。  
美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

### 徳島県

#### “四国のみち”とは

あなたの足でゆっくりと歩きながら森や川、野鳥のさえずりなど、自然の中で、地方の特色ある文化や歴史と親しむための自然歩道です。

コースは自然公園の地域や、由緒ある社寺、天然記念物などの所在地を通り、急な山道や平坦な道など、変化に富んだ道で結ばれています。

コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、また、各所に休憩所を設置してあります。

#### 四国のみち(四国自然歩道)の概要

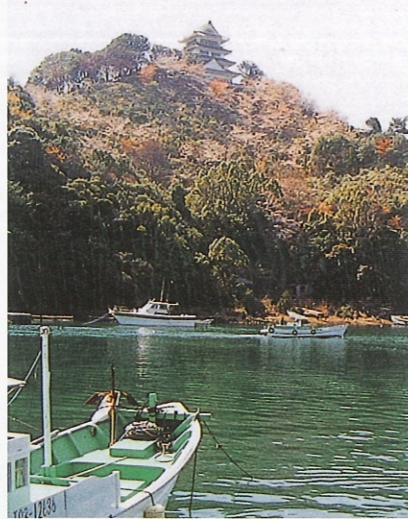


R100  
本冊子は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

#### 周辺の見どころ

##### ●日和佐城

日和佐浦の城山(標高62m)に白亜の天守閣が完成したのは、昭和53年9月28日である。この地は、天亀年間(1570~1573)ごろ日和佐城を築いたところと言われる。



なお、城内の展望台からは眼下に日和佐の街並みがひらけ、伸びゆくふるさとの情景が感受される。

また、付近にはふれあい広場やあじさい園(6~7月)などがあり、家族連れで楽しめる憩いの場にもなっている。



##### ●千羽海崖

日和佐の海崖は、大部分が急傾斜の海崖が続いている。代表的な千羽海崖は、大磯から外の牟井まで約2kmの海岸に、高さ200m前後の海蝕崖が続き豪大な光景が展開している。特に、千羽が岳(標高245m)付近での垂直に切り立った海崖は、全国的にも有数の大岩壁である。室戸阿南海岸国定公園の中でも、室戸とともに特別保護地区の指定を受けている。岩面にはほとんど樹木はなく、山上部や岩壁のヒダには、小松やウバメガシが点在し、「ウミウ」の格好の生息場所となっている。千羽海崖の海岸線は、直線的で波の浸食作用だけでなく、大部分は断層によって出来たものと言われる。



昭和41年には、この千羽海崖を図案化した国定公園記念切手が発売された。

岩島は、波浪などのために大部分岩石を露出した島で、千羽海崖下にある通り岩は、高さ20mの岩島で下部が洞穴となって東西に貫通している。洞穴は幅高さとも約10m、長さ約20mある。

なお、千羽海崖の名は、薬王寺を開基した弘法大師が絶壁に巣くうイワツバメが一斉に飛び立つ様を見て「千羽の崖(かけ)と呼ぶべし」と言ったのに由来するという。



##### ●沿線で見られる野鳥たち

日和佐の海岸は岩場が多く、ミサゴ・イソヒヨドリ・アマツバメ・イワツバメなどが繁殖し、イワツバメはここで集団越冬する。

冬はユリカモメ・カモメ・ウミネコなどのカモメ類がたくさん渡来し、漁港内にも集まって来る。

また、ウミウ・ヒメウも渡来し、岩場では数十羽が休んだり、翼を広げて羽根を乾かしているのをよく見る。

##### イソヒヨドリ

全長約25.5cm。留鳥。ヒヨドリくらい大きさ。雄は頭から胸、背、上尾筒にかけて暗い青色。雌の方は全体に黒褐色の地味な単色だが下面にうろこ状の模様がついている。岩場の多い海岸にすみ繁殖している。雄も雌も美しく鳴き春の繁殖期他、秋にもよく鳴く。



##### イワツバメ

全長約14.5cm。留鳥。スズメとほぼ同大で、ツバメより小さい。上面は黒色で腹だけ白い。翼は、ツバメほど長く上がった感じはなく尾も短い。飛行中の昆虫を捕えて食べる。ジュジュとこった声で鳴く。



##### カモメ

全長約44.5cm。冬鳥。カラスぐらいの大きさ。頭、体の下面は白く、背は淡い青灰色、翼の先は黒く白斑がある。冬羽では頭部に褐色の斑点がある。くちばし、足ともに黄色である。雑食性で、魚のほか動物の死体、ゴカイ、海藻などを食べ、ゴミもあさる。キューウと鳴く。



##### ウミネコ

全長約46.5cm。カラスぐらいの大きさ。背や翼の上面は濃青灰色。尾の先端近くには黒帯がある。他の部分は白色。くちばしは黄色で先端に黒と赤の斑紋があり足も黄色である。冬鳥だが、7月から見られ、夏に見られるのは若鳥が多い。ミャオーと鳴く。



##### ウミウ

全長約84cm。冬鳥。全体に黒色の海鳥。ヒメウよりひとまわり大きく、くちばしも太い。顔面は黄色く、目は緑色。成鳥の上面は緑色の光沢がある。主に11月に渡来し、4月に渡去する。海上を泳ぎつつ頻繁に潜っては主食の魚を捕る。ウミウイに使う。



##### ヒメウ

全長約73cm。冬鳥。体は全体に金属光沢のある黒色。ウミウにくらべ体はひとまわり小さく、くちばしも明らかに細い。春の渡去前には顔の赤いものも多く見られる。ウミウと同様潜水が巧みで水中の魚類を主食とする。



(上 野鳥の写真は日本野鳥の会徳島県支部より提供)

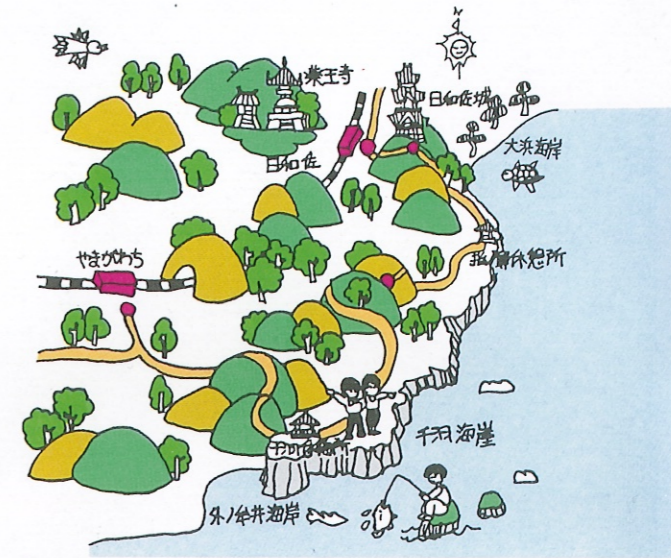
##### ●沿線の風景

日和佐駅から潮の香りを感じ取りながら日和佐城に向かっていく。日和佐城からは、日和佐の町並みが見られる。

どこまでも続くウバメガシの樹林に入ると、岩をたたきつける波の音、野鳥の音が耳に馴染み目前に洋々と広がる広がる太平洋が展望できる。

やがて、通り岩休憩所に着くと、高さ200m前後の千羽海崖の雄大な光景が見られるだろう。通り岩を抜ける遊覧船、磯釣りを楽しむ人々、イワツバメの群れなどが、そして、千羽休憩所(標高245m)からは、もっと豪壮な光景に出合うだろう。

ウバメガシ、スギ、ヒノキに囲まれた林を抜けると白沢の集落に出て山河内駅に着く。



#### “四国のみち”を楽しく歩くために

1. あらかじめコースのみどころ、地形、距離などを十分調べて、自分の好みや体力に合ったコースを選び、行き帰りの乗り物の時間なども調べて、余裕のある日程を組んで出かけましょう。
2. 天気予報に注意し、天気の悪いときは無理をせず予定を変更し天気の良い日にゆっくり歩きましょう。
3. 服装はハイキングに適したもので、持ち物は弁当、水筒、地図、磁石、時計、雨具、防寒具など必要最小限にとどめ、リュックサックをできるだけ軽くして出かけましょう。
4. さあ! それでは気の合った仲間と出かけましょう。

#### ハイカーへのお願い

1. 空カン、ゴミは投げ捨てないで持ち帰りましょう。
2. タバコの投げ捨て、たき火は山火事のもとです。絶対やめましょう。
3. 果樹や農作物は農家の人達の大切な財産です。傷つけたり、取ったりしないようにしましょう。
4. 美しい自然はみんなのものです。後から来る人のために大切にしましょう。

#### 交通機関

JR牟岐線  
JR日和佐駅(山河内駅) ☎(0884)77-0079

#### お問い合わせ先

徳島県自然共生室 ☎(088)621-2263  
日和佐町企画観光課 ☎(0884)77-1111